

メール送信における調達仕様書

1. 目的 セキュア【安心・安全・頑丈・堅牢】な環境下でのメール送信業務の確立、送信時の添付ファイルを安全に送り手側に届ける仕組みを構築することを目的とする。
2. 調達の概要 クラウドによる仕組み 1 式
3. 納入場所 春日那珂川水道企業団本庁舎
4. 納入期限 令和 7 年 3 月 21 日
5. 入札額 クラウド使用料金(1 年間)及び設定に係る初期費用の総額(消費税抜き)を入札額とする。※構築・設定作業を含む。
6. 落札者決定方法
 入札に参加する者は、応札予定機器のカタログ等（仕様を満たすことが確認できる書類）と入札書を同封し、郵送すること。予定価格を下回る価格を提示した者の中で一番安価な価格を提示した者を落札候補者とする。
 落札候補者は入札後に総務課 財政係の審査を受け、審査に適合しなければ、落札者として契約を締結することはできない。この場合、次点の落札候補者が審を受けることとなる。
7. その他 入札時において生産されている現行の最新バージョンのものであり、トラブル時の問い合わせ、円滑な使用を担保できる体制をクラウドサービス開発元が有していること

【仕様要件】

◆クラウドサービス要件

- ・サービス開発元の事業者において、ISO/IEC 27001:2013 を取得していること
- ・サービス開発元の事業者において、ISO/IEC 27018:2019 を取得していること
- ・サービス開発元の事業者において、ISMS を取得していること
- ・クラウドサービスは SLA(サービス品質保証)として、99.9%以上を明記していること
- ・従量制による追加費用が発生しないサービスであること

◆大容量ファイル転送用オンラインストレージ要件

- ・ファイルをアップロードし、ダウンロード URL を生成する機能を持つこと
- ・ファイルの送信だけでなく、受信にも利用できること
- ・1 つの URL にアップロードできるサイズとして、合計 2GB までのサイズに対応して

いること

- 1つのURLにアップロードできるファイル数として、合計20ファイルまでアップロードできること
- アップロード／ダウンロードが行われた際、ユーザーに通知を行うこと
- データの送受信のログと一定期間のデータが格納されており、ユーザーによって任意にデータへのアクセス（再ダウンロード）やアクセスログの表示が可能なこと
- ユーザーによってパスワードの設定、URLの無効化ができること

◆脱PPAP(添付ファイルを送受信する際に、添付ファイルを全て一律に暗号化し、パスワードを2通目のメールで送る手法)要件

- Exchange Online と連携し、以下の機能を有すること
 - ・添付ファイルを自動的に引き剥がしてオンラインストレージに格納できること
 - ・ダウンロードURLを生成してメール本文にURL情報を自動的に挿入できること
- URLをメール送信後に無効化できる仕組みを持つこと、送信者だけではなく管理者でも無効化の実施ができること
- システム管理者による一元管理が可能な仕組みとし、各ユーザー環境/クライアント環境への初期設定や構成設定を必要としないこと
- 大容量ファイル転送用オンラインストレージと同じ画面で、データ送受信のログや送受信されたデータの情報が確認可能であること

◆IdP(クラウドサービスにアクセスする際のユーザー認証情報を保存・管理するサービス)要件

- SAML2.0(クラウドサービスにユーザーが本人であることを伝えるための標準規格)とOPEN ID Connect (OAuth2.0 (クラウドサービスが、ユーザーに代わって他のウェブアプリがホストしているリソースに、アクセスできるよう設計された基本)を基本にして、認証ができるようになったプロトコル)に対応しているシステムを連携しシングルサインオンができること。また連携するシステム数を増やす際に追加のライセンス費用が発生しないこと
- ユーザーのアクセスログ(アクセス日時・ユーザー名・IPアドレス・ログイン成功・パスワード認証失敗・アクセスポリシー違反等)が取得できること。また、取得したアクセスログは契約期間中であれば保持しておき、管理者画面から過去のアクセスログも確認ができること
- 許可したグローバルIPアドレスからのみIDaaS(クラウド上のさまざまなサービスのID管理を一元的に行うクラウドサービス)へログインさせる制御ができること
また、グローバルIPアドレスは複数登録ができること
- Microsoft 365 に対して、ユーザープロビジョニングを行う機能を持つこと

◆サポート要件

- ・サポートがライセンス費用に含まれている且つ、日本語でのメールと電話の両方で問い合わせが可能であること
- ・メール問合せに関しては、24 時間受付可能であること
- ・電話問合せに関しては、通常営業日（日本基準：土・日曜日、祝日などの休業日を除く）の 10 時～18 時の間で対応可能であること但し、大規模障害等のような緊急対応が必要な事象に対しては、24 時間の対応可能であること
- ・ユーザーの改廃、ポリシーの変更など管理画面で管理者が行える設定については、無償でメーカーが設定代行対応可能であること
- ・サービス提供元は、国内に開発、販売、サポートの支援体制があること
- ・大容量ファイル転送用オンラインストレージ、脱 PPAP、IdP それぞれのメーカー問い合わせ窓口が一元化されていること

◆マニュアル

- ・管理者用のオンラインマニュアルが日本語で公開されていること
- ・SAML2.0 に対応可能なシステムの接続オンラインマニュアルを公開していること
- ・サービス提供元が連携実績のない SAML2.0 に対応しているクラウドサービスについて、メーカー側で接続検証とオンラインマニュアルの作成支援が可能なこと
- ・ユーザー用のオンラインマニュアルが日本語で公開されていること

◆環境構築作業内容

- ・対面での打ち合わせ、作業内容、納品説明、スケジュール管理工程表の提出
- ・現メール送受信環境のヒアリング、新たなメール送信環境の設定
- ・システム構築、チューニング立ち合い
- ・設計仕様書や簡易マニュアルの作成(環境設定記載文書/ユーザー向け簡易手順書)及び納品

◆参考品 HENNGE（添付ファイルを安全に送り手側に届ける仕組み）